改正消費税対応

戦略財務情報システム

FX2

TKC

FX2は、経営者のための最強の業績管理ツールです！

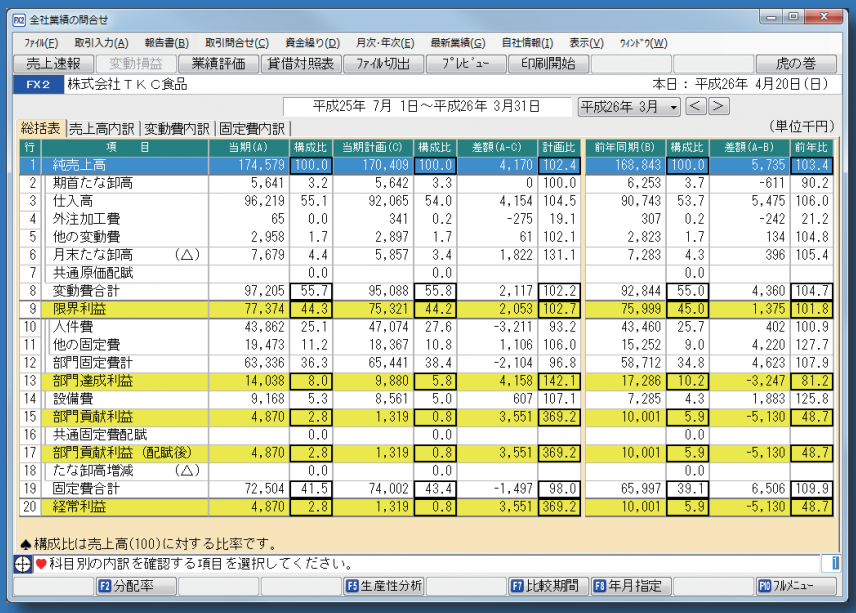
日々刻々と変わりゆく経営環境を勝ち抜き、黒字経営を継続していくためには、企業のトップに迅速かつ戦略的な意思決定が要求されます。
戦略財務情報システム「FX2」は、そのような経営者の意思決定を支援する最強の業績管理ツールです。

FX2の特長

Ⅰ 経営戦略レベル

トップが組織全体の動向を即座につかむために利用する

「365日変動損益計算書」により、期首から本日までの最新業績を即座につかむことができます。これにより、現状打開のための打ち手をすばやく行えるようになります。



行	項目	当期(A)	構成比	当期計画(C)	構成比	差額(A-C)	計画比	前年同期(B)	構成比	差額(A-B)	前年比
1	純売上高	174,579	100.0	170,409	100.0	4,170	102.4	168,843	100.0	5,735	103.4
2	期首たな卸高	5,641	3.2	5,642	3.3	0	100.0	6,253	3.7	-611	90.2
3	仕入高	96,219	55.1	92,065	54.0	4,154	104.5	90,743	53.7	5,475	106.0
4	外注加工費	65	0.0	341	0.2	-275	19.1	307	0.2	-242	21.2
5	他の変動費	2,958	1.7	2,897	1.7	61	102.1	2,823	1.7	134	104.8
6	月末たな卸高 (△)	7,679	4.4	5,857	3.4	1,822	131.1	7,283	4.3	396	105.4
7	共通原価配賦		0.0		0.0				0.0		
8	変動費合計	97,205	55.7	95,088	55.8	2,117	102.2	92,844	55.0	4,360	104.7
9	限界利益	77,374	44.3	75,321	44.2	2,053	102.7	75,999	45.0	1,375	101.8
10	人件費	43,862	25.1	47,074	27.6	-3,211	93.2	43,460	25.7	402	100.9
11	他の固定費	19,473	11.2	18,367	10.8	1,106	106.0	15,252	9.0	4,220	127.7
12	部門固定費計	63,336	36.3	65,441	38.4	-2,104	96.8	58,712	34.8	4,623	107.9
13	部門達成利益	14,038	8.0	9,880	5.8	4,158	142.1	17,286	10.2	-3,247	81.2
14	設備費	9,168	5.3	8,561	5.0	607	107.1	7,285	4.3	1,883	125.8
15	部門貢献利益	4,870	2.8	1,319	0.8	3,551	369.2	10,001	5.9	-5,130	48.7
16	共通固定費配賦		0.0		0.0				0.0		
17	部門貢献利益（配賦後）	4,870	2.8	1,319	0.8	3,551	369.2	10,001	5.9	-5,130	48.7
18	たな卸高増減 (△)		0.0		0.0				0.0		
19	固定費合計	72,504	41.5	74,002	43.4	-1,497	98.0	65,997	39.1	6,506	109.9
20	経常利益	4,870	2.8	1,319	0.8	3,551	369.2	10,001	5.9	-5,130	48.7

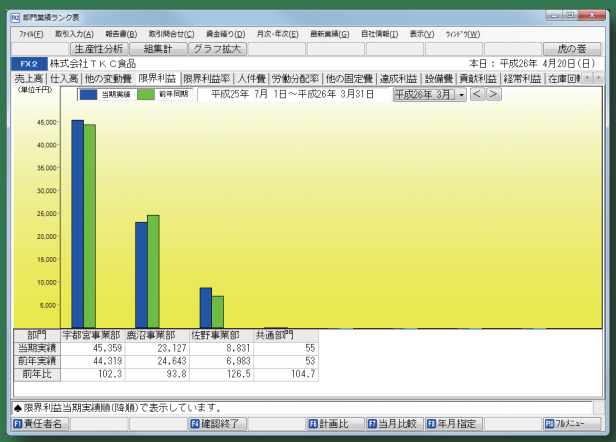
機　能

- ◉365日変動損益計算書
- ◉業績評価機能
- ◉当期決算の先行き管理
- ◉資金繰り機能
- ◉得意先別の与信管理
- ◉社長メニュー

Ⅱ　業績管理レベル

管理者が部門業績を検証し、次の打ち手を考えるために利用する

部門ごとの「売上高」「限界利益」「固定費」「経常利益」等の状況を、経営者や部門責任者がタイムリーに把握できます。



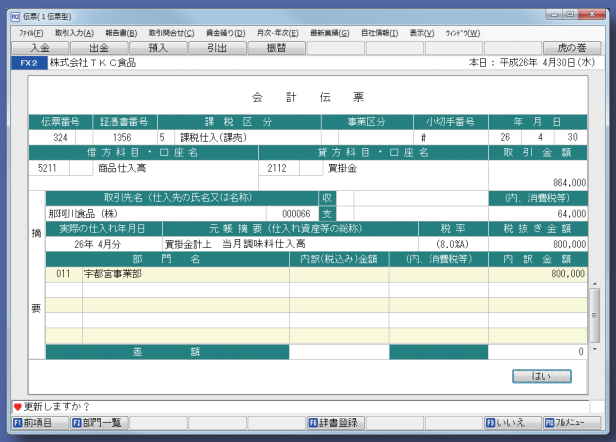
機　能

- ◉部門別業績管理
- ◉取引記録（仕訳）までのドリルダウン
- ◉予算実績管理

Ⅲ　業務執行レベル

入力担当者が迷わない、失敗しない、完全なデータを作成するために利用する

消費税法や会社法等の各種法令に完全対応しています。また、日々の迅速・正確な経理業務を支援します。



機　能

- ◉法令への完全準拠（消費税の記帳要件が完璧）
- ◉経理業務の合理化（PX2･SX2との仕訳連携）
- ◉支払管理体制の強化
- ◉電子帳簿保存法に完全対応

インターネット･テクノロジーを最大活用した機能

「業績管理の強化」と「経理業務の合理化」をさらに支援するために、インターネット･テクノロジーを最大活用した機能を搭載しています。

機　能

- ◉TISCバックアップサービス（FX2用）
- ◉社長メニュー（ASP版）
- ◉インターネットバンキング等からの仕訳読込機能
- ◉最新版プログラムのダウンロード

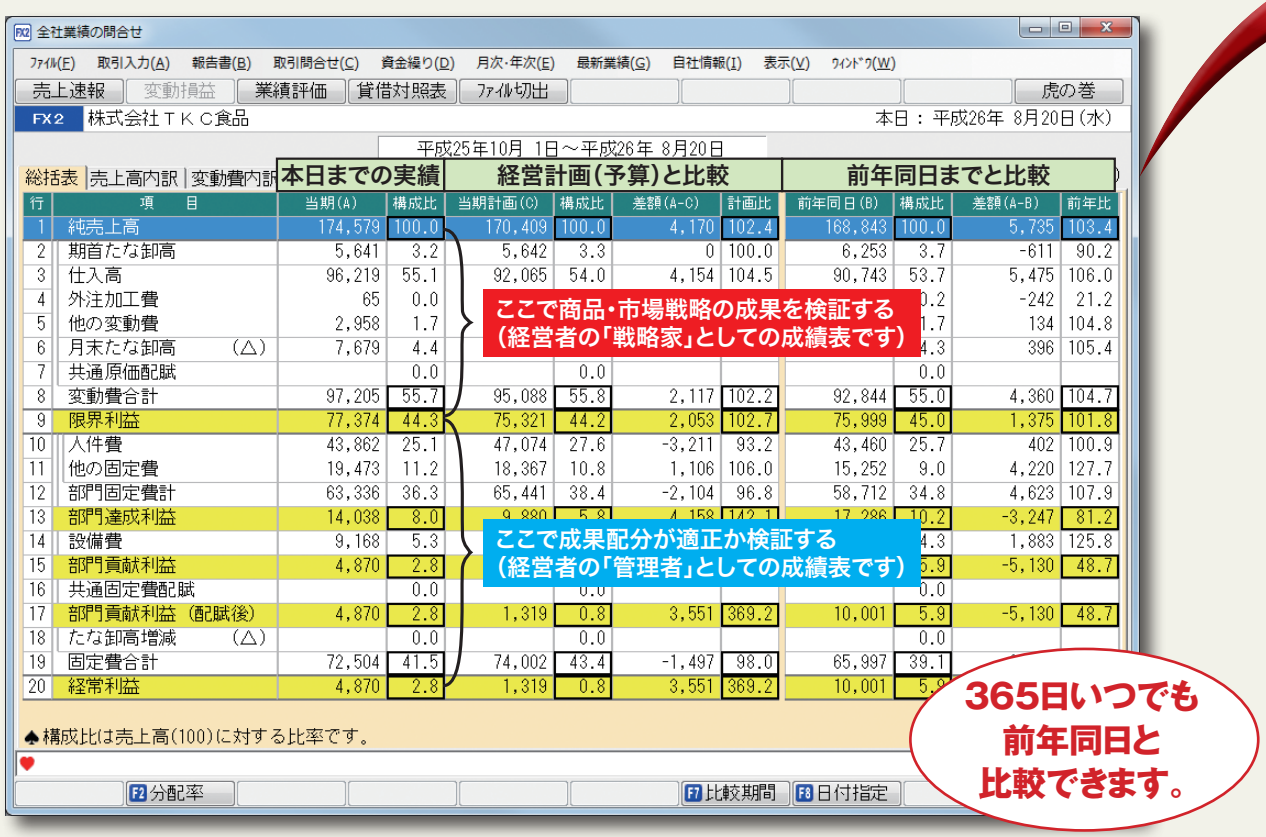
万全なサポート体制

FX2はTKC会員事務所のサポートにより運用するシステムです。会社法や税法が求める帳簿や決算書の作成、税務申告はTKC会員事務所が担当するため、社長は経営に専念していただけます。

トップが組織全体の動向を即座につかむために利用する

365日変動損益計算書
全社の最新業績を一画面で即座につかめます

株主総会や税務署提出用の損益計算書は、残念ながら経営者の意思決定には役立ちません。
FX2は「365日変動損益計算書」により最新業績を要約表示し、経営者の意思決定に役立つヒントを提供します。

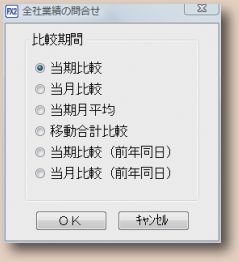


行	項目	当期(A)	構成比	当期計画(C)	構成比	差額(A-C)	計画比	前年同日(B)	構成比	差額(A-B)	前年比
1	純売上高	174,579	100.0	170,409	100.0	4,170	102.4	168,843	100.0	5,735	103.4
2	期首たな卸高	5,641	3.2	5,642	3.3	0	100.0	6,253	3.7	-611	90.2
3	仕入高	96,219	55.1	92,065	54.0	4,154	104.5	90,743	53.7	5,475	106.0
4	外注加工費	65	0.0						0.2	-242	21.2
5	他の変動費	2,958	1.7						1.7	134	104.8
6	月末たな卸高 (△)	7,679	4.4						4.3	396	105.4
7	共通原価配賦		0.0		0.0				0.0		
8	変動費合計	97,205	55.7	95,088	55.8	2,117	102.2	92,844	55.0	4,360	104.7
9	限界利益	77,374	44.3	75,321	44.2	2,053	102.7	75,999	45.0	1,375	101.8
10	人件費	43,862	25.1	47,074	27.6	-3,211	93.2	43,460	25.7	402	100.9
11	他の固定費	19,473	11.2	18,367	10.8	1,106	106.0	15,252	9.0	4,220	127.7
12	部門固定費計	63,336	36.3	65,441	38.4	-2,104	96.8	58,712	34.8	4,623	107.9
13	部門達成利益	14,038	8.0	9,880	5.8	4,158	142.1	17,286	10.2	-3,247	81.2
14	設備費	9,168	5.3						4.3	1,883	125.8
15	部門貢献利益	4,870	2.8						5.9	-5,130	48.7
16	共通固定費配賦		0.0		0.0				0.0		
17	部門貢献利益（配賦後）	4,870	2.8	1,319	0.8	3,551	369.2	10,001	5.9	-5,130	48.7
18	たな卸高増減 (△)		0.0		0.0				0.0		
19	固定費合計	72,504	41.5	74,002	43.4	-1,497	98.0	65,997	39.1		
20	経常利益	4,870	2.8	1,319	0.8	3,551	369.2	10,001	5.9		

【365日変動損益計算書】

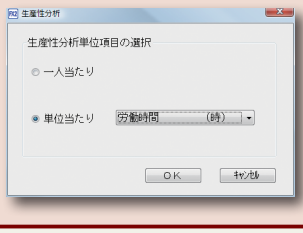
変動損益計算書は、すべての費用を売上高の増減に比例して発生する変動費と、売上高の増減とは関係なく発生する固定費に分けて表示した損益計算書のことです。入力内容が即座に反映されるため、365日最新の業績を把握することができます。

時系列比較



多彩な時系列比較により、業績の変化を即座に発見できます。

生産性分析



1人当たり、または任意に指定した単位当たりの生産性を分析できます。

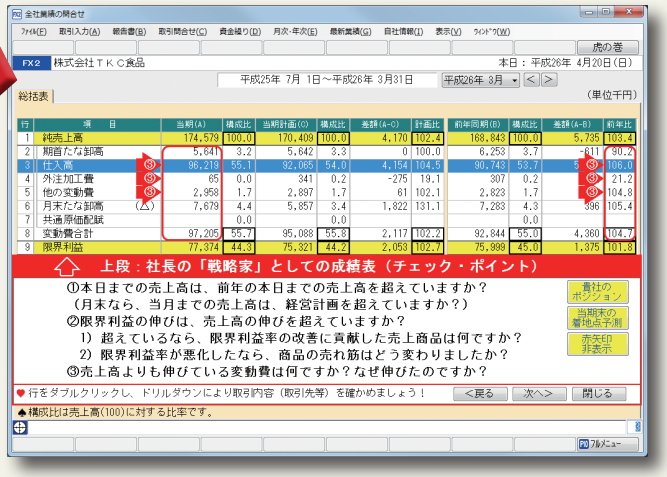
経営分析値

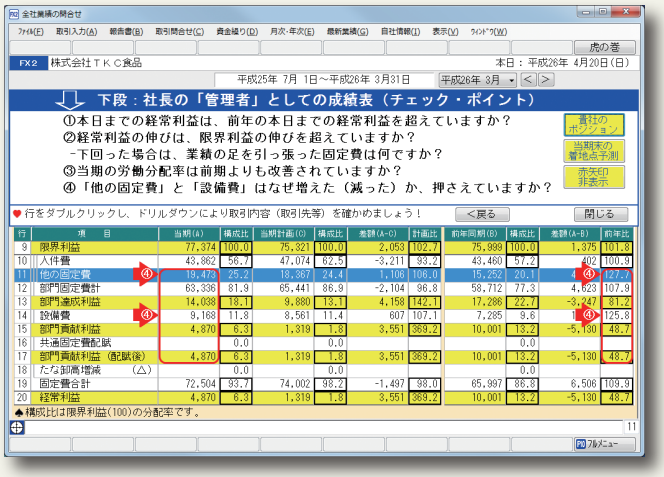
資金繰りの改善や収益性向上に役立つ様々な経営分析値を確認できます。

業績評価機能

戦略の打ち手を考えるヒントを提供します

「黒字決算のための5原則」に沿って、画面上にチェックポイントが示されるので、黒字決算に向け、変動損益計算書のどこを見て現状を捉え、打ち手を考えるべきかを確認できます。

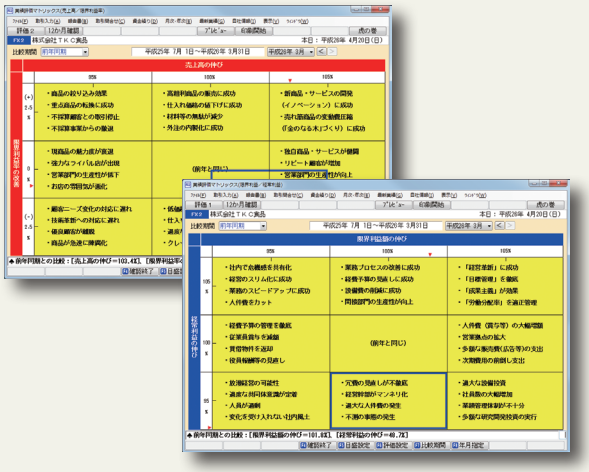




会計で会社を強くする（黒字決算のための５原則）

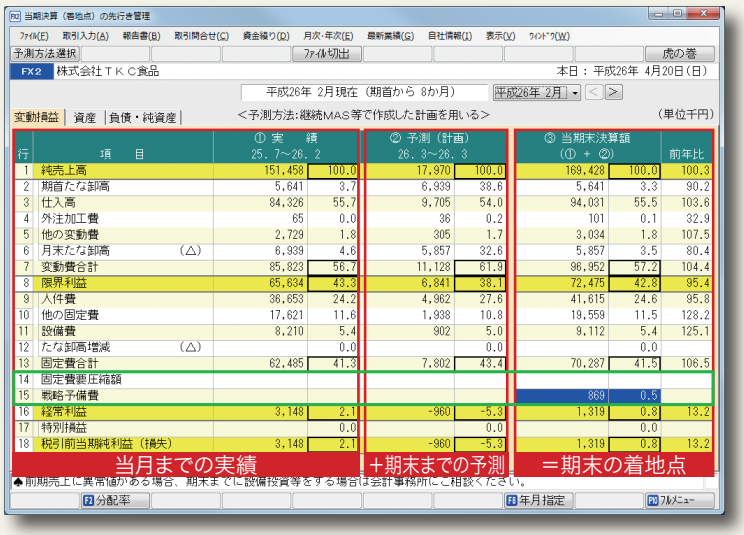
1. 売上高を伸ばす努力を継続する。
2. 限界利益率を、前年よりも改善する。
3. 固定費を、限界利益以下に抑える。
4. 労働分配率を抑え、@人件費を高くする。
5. 経常利益の期末着地点を予測する。

また、「貴社のポジション」をクリックすると、業績評価マトリックスを確認できます。「売上高」「限界利益率」「経常利益」の過去3年分のデータと比較して、「商品・市場戦略の成果」と「業績管理の成果」について、評価のポイントを表示します。黒字決算に向けた経営改善のヒントとして活用できます。



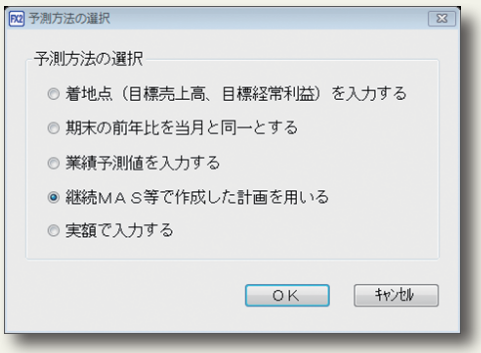
当期決算の先行き管理

黒字決算（当期着地点）をシミュレーションできます



最新実績をもとに未経過月の予測を行い、当期決算の目標金額を算出します。黒字決算を実現するためのアクションプラン（打ち手）を早期に検討できます。

予測値は5つの方法で入力できます。



固定費要圧縮額

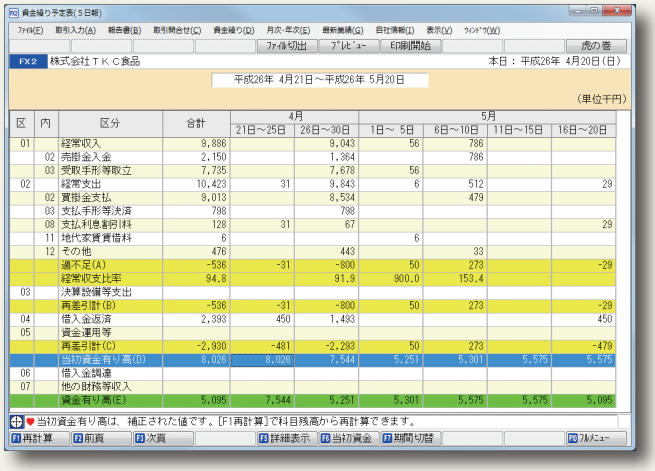
目標経常利益を確保するために、期末までに圧縮しなければならない経費の額を表示します。

戦略予備費

期末までに、社長の意思決定により戦略的に活用できる予備費を表示します。

資金繰り機能
資金繰り計画の作成や資金繰りの改善をサポートします

【資金繰り計画表】



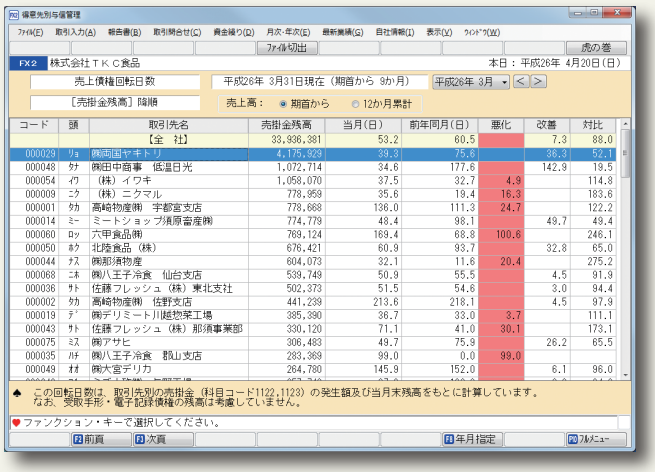
日々入力する会計伝票から「資金繰り計画表」を簡単に作成できます。また、支払手形と受取手形について、期日別・銀行口座別の残高管理が可能です。

【資金繰り実績表】

日々入力する会計伝票への収支区分の入力により「資金繰り実績表」を簡単に作成できます。資金の流れをより正確に把握することができます。

得意先別の与信管理
得意先別に売掛金の回収状況を管理できます

【売上債権回転日数】



得意先別の売掛金の回収状況を一覧で確認できます。「売掛金残高」「回転日数」「悪化」「改善」等の各項目で昇順・降順の並び替えが可能です。

ONE POINT 経営改善計画モニタリング機能

経営改善計画書の進捗状況を把握する機能を搭載しています。

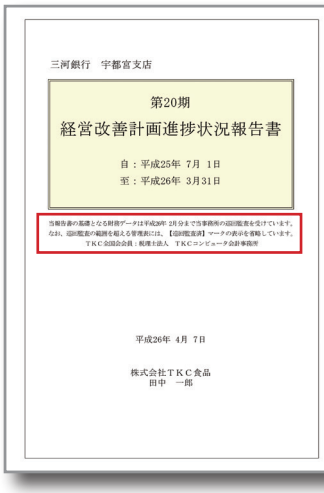
■銀行報告用ボタン

経営改善計画書の進捗状況を金融機関へ報告するために必要な書類を、即座に準備することができます。

〈印刷できる報告書〉

- **勘定科目残高一覧表**
- **変動損益計算書（当月・当期分析表）**
- **要約貸借対照表**
- **資金繰り実績表**
- **変動損益計算書（部門別内訳表）**
- **金融機関別預貸率表**

会計事務所の巡回監査済みであることを証明しています。報告書の内容に信頼度が増します。

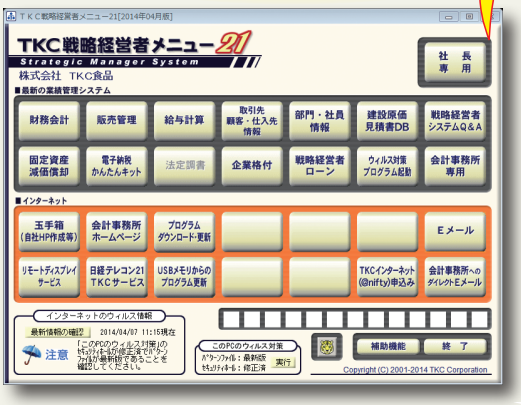


※当機能を利用するためには会計事務所の継続MASシステムで作成した経営改善計画のデータをFX2(.NET版)に登録する必要があります。

社長メニュー
社長のための「一発回答ボタン」です

経営者が自社に役立つ経営情報を迅速かつ効率的に入手できます。
また、グラフ表示により視覚的に一瞬で自社の状況を捉えることができます。

社長専用ボタンをクリックすると、社長メニューが起動します。



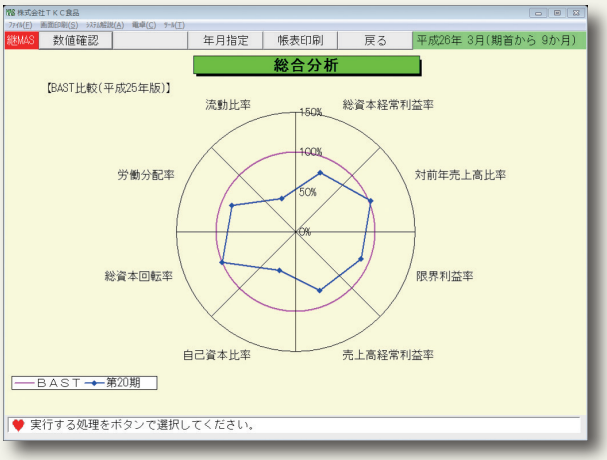
利益に関する情報
- 経常利益の伸びは?
- 利益貢献部門は?
- 部門別採算性は?
- 固定費は適正か?
- 当期決算の着地点は?
- 同業他社との比較は?

売上に関する情報
- わが社の最新業績は?
- 月別売上高は?
- 科目別売上高は?
- 売上貢献部門は?
- 売掛金の回収状況は?
- 売掛金の回転日数は?

資金に関する情報
- 直近の資金繰り予定は?
- 6か月の資金繰り予定は?
- 売掛金等の回収予定は?
- 買掛金等の支払い予定は?
- 借入金の返済予定は?
- 現在の借入金残高は?

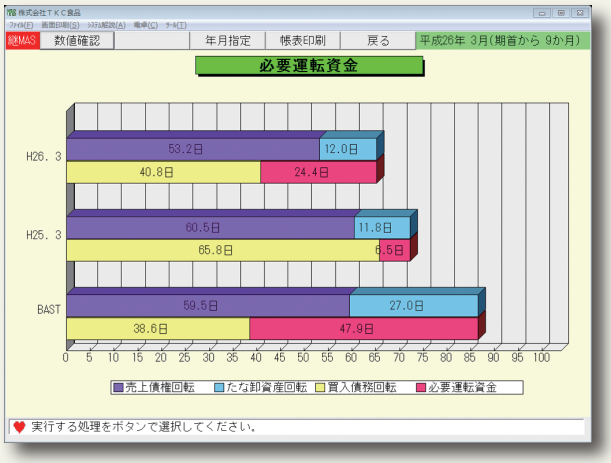
項目をクリックすると、知りたい情報が一発で表示されます。

【利益タブ】同業他社との比較は?



BAST値に基づいた比較が可能です。

【資金タブ】運転資金はいくら必要か?



自社の1年前の値やBAST値との比較が可能です。

BAST「TKC経営指標」

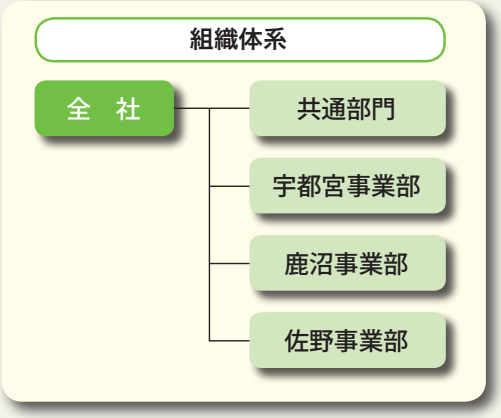
BAST(発行:TKC全国会)は、「TKC財務三表システム」等を2年以上継続利用している中小・中堅企業(年商100億円以下)の経営成績と財政状態を分析した指標です。
TKC会計人が毎月継続して実施した巡回監査と月次決算により作成された会計帳簿を基礎とし、そこから誘導された決算書(貸借対照表及び損益計算書)を収録データとしています。これらの決算書は、すべてそのまま法人税の申告時に利用されたものです。

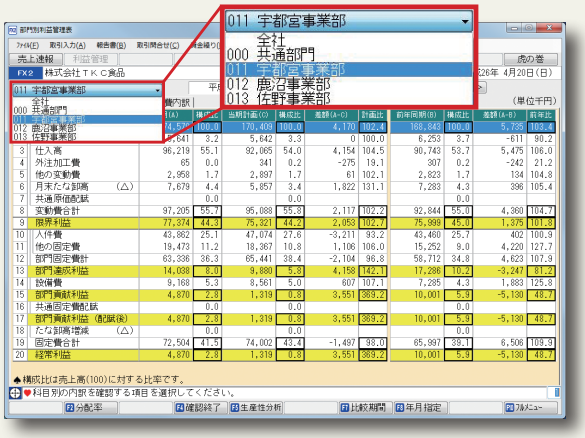
管理者が部門業績を検証し、次の打ち手を考えるために利用する

部門別業績管理

組織に合わせた部門別業績管理体制を構築できます

企業の組織体系に合わせて部門を設定できます。
部門ごとの「売上高」「限界利益率」「固定費」「経常利益」等の状況を、経営者や部門責任者がタイムリーに把握できます。

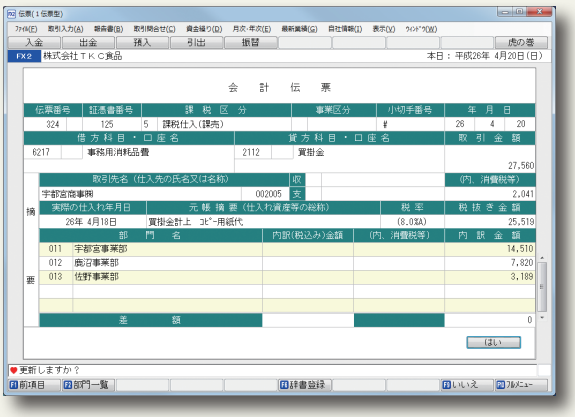




入力が簡単

仕訳入力画面

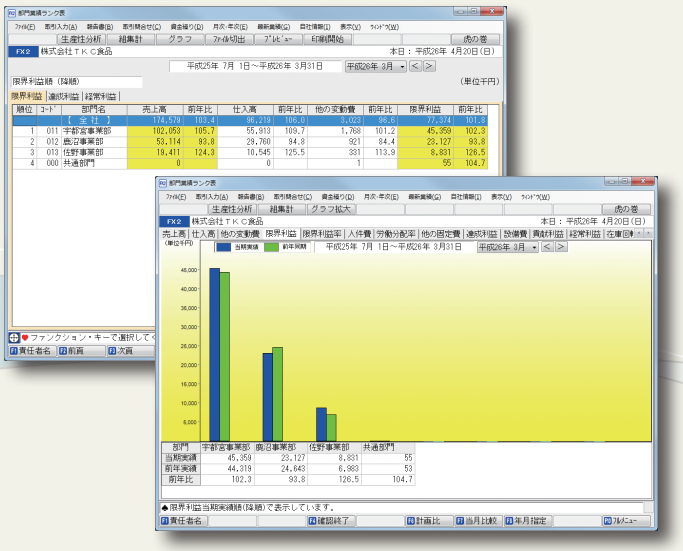
会計伝票の入力時に部門明細を併せて入力します。複数部門にまたがる取引の場合でも入力が簡単です。
また、部門明細を入力することで、部門別の変動損益計算書が作成され、部門別の最新業績を把握することができます。



部門別業績の検証

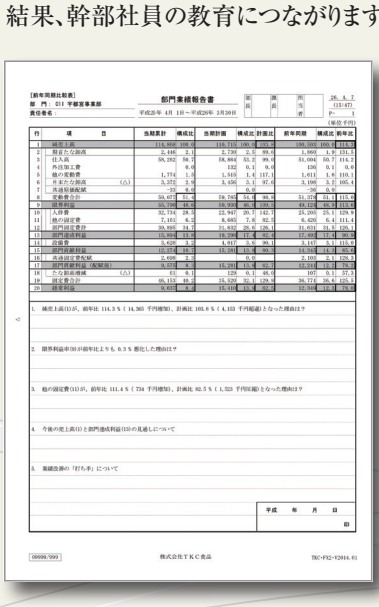
部門業績ランク表

策定した当期予算の部門別達成率や部門業績のランク表等をグラフで分析でき、予算達成に向けた有効な戦略を立案できます。

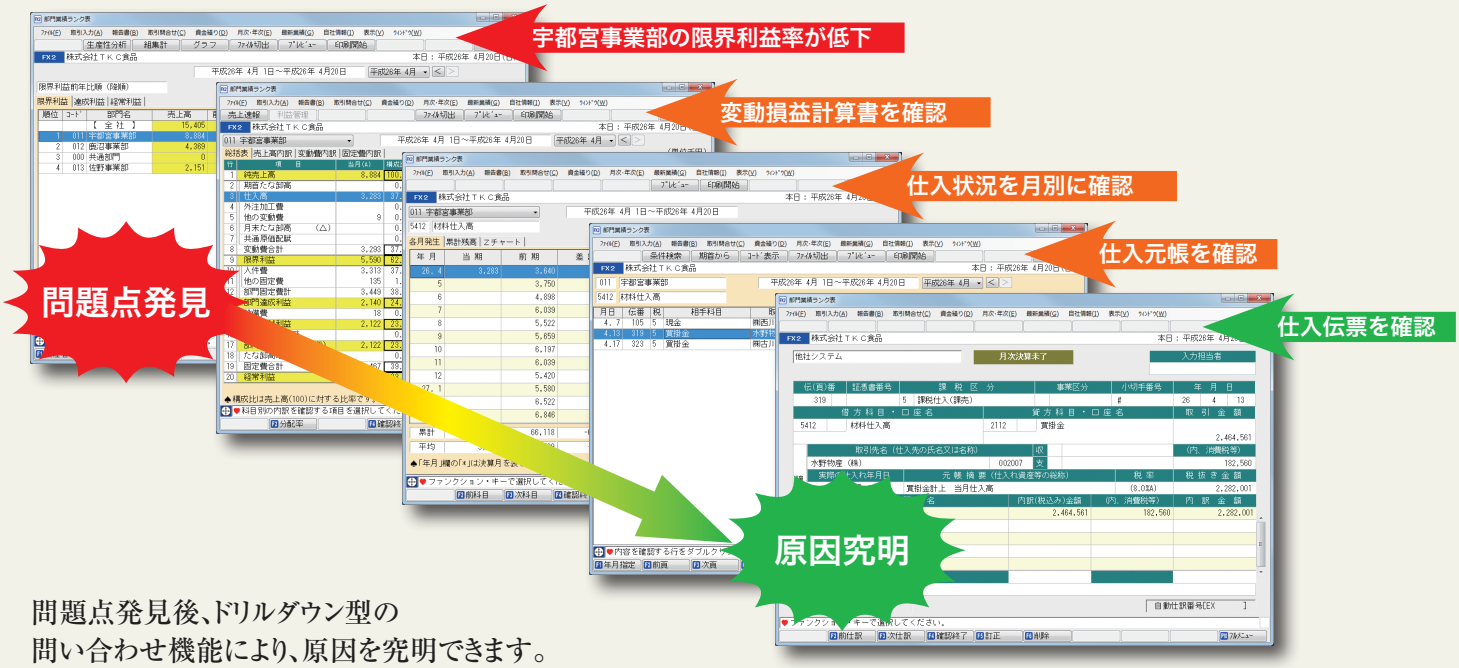


部門業績報告書

部門業績について、その業績となった原因と業績改善の打ち手を部門責任者に報告させるための資料を作成できます。
結果、幹部社員の教育につながります。



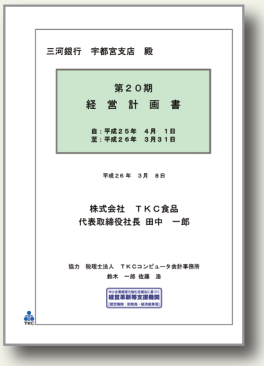
取引記録（仕訳）までのドリルダウン
問題点の「原因究明」が可能です

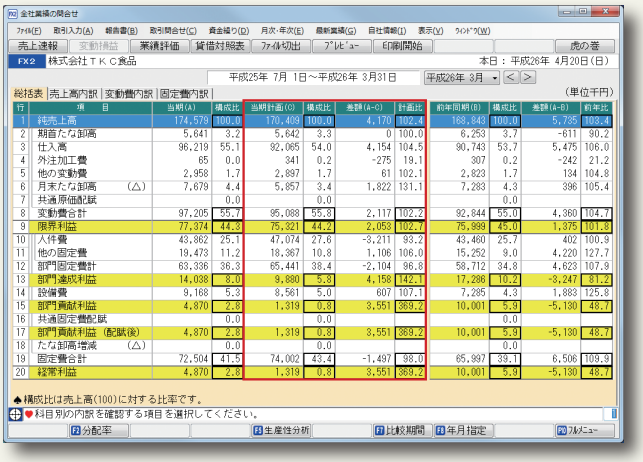


問題点発見後、ドリルダウン型の
問い合わせ機能により、原因を究明できます。

予算実績管理
全社及び部門別の予算実績管理を行えます

会計事務所の支援のもとで作成した経営計画（年度予算）をシステムに登録できます。登録した予算は、いつでも実績の進捗状況と比較して確認できます。





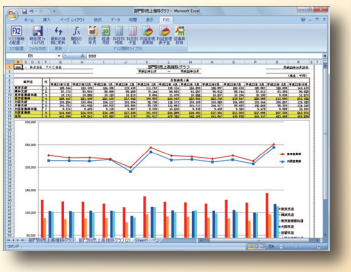
ONE POINT マネジメントレポート設計ツール

実績や予算などのFX2のデータを利用して、貴社独自の管理資料をExcelで効率的に作成することができます。

抽出
編集

マネジメントレポート設計ツール

- Excel標準関数
- 四則演算
- グラフ作成



入力担当者が迷わない、失敗しない、完全なデータを作成するために利用する

法令への完全準拠

各種法令に完全準拠した帳簿を、迅速かつ正確に作成できます

FX2は、会計法令や税法等に完全準拠しています。また、経理担当者の業務を強力にサポートする様々な機能により、月次決算の早期化を支援します。

消費税の記帳要件が完璧

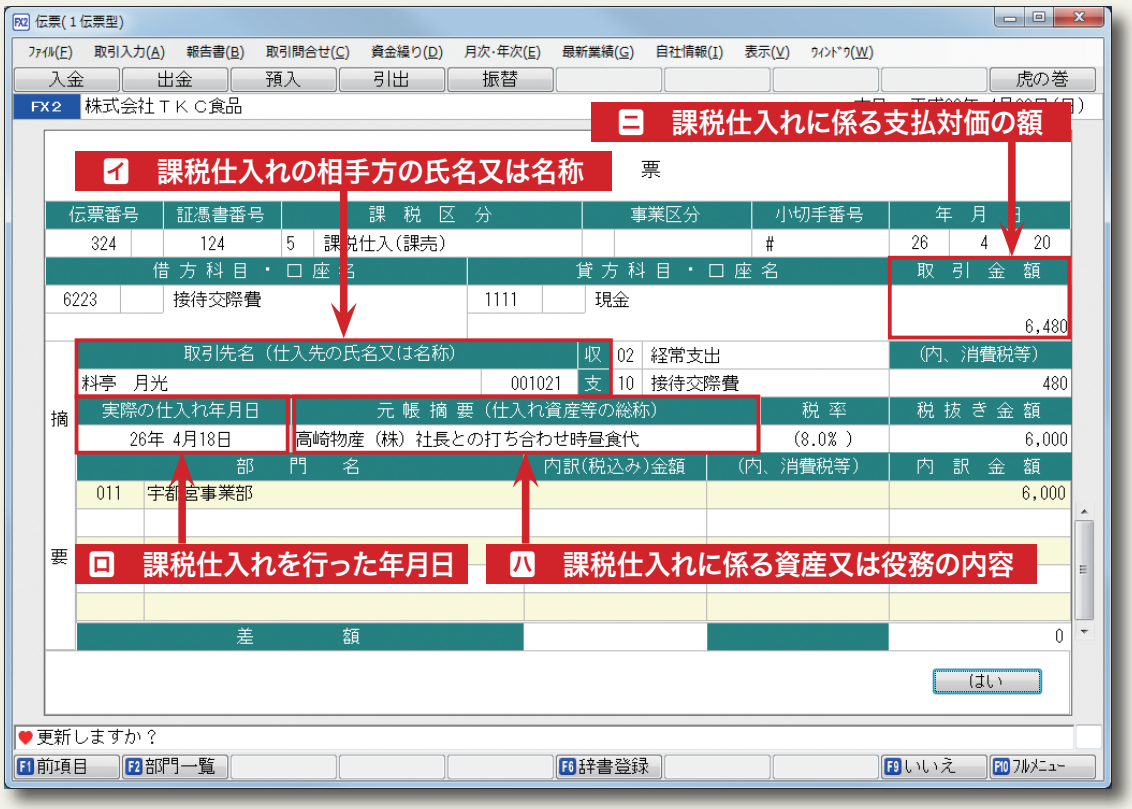
FX2で作成する会計帳簿は、消費税法に定められている仕入税額控除のための帳簿の記載要件（消費税法第30条）を完全に網羅しています。

仕入税額控除のための帳簿の記載要件（消費税法第30条）

消費税課税事業者が仕入先に支払った消費税を、納付すべき消費税額から控除するためには、下記イ～ニの事実を記載した帳簿を作成する必要があります。

- イ 課税仕入れの相手方の氏名又は名称
- ロ 課税仕入れを行った年月日
- ハ 課税仕入れに係る資産又は役務の内容
- ニ 課税仕入れに係る支払対価の額

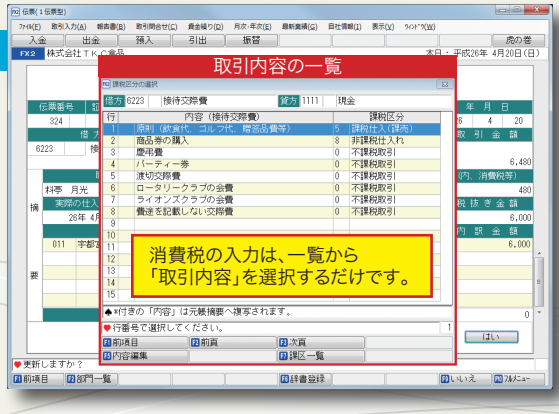
FX2では、会計伝票の入力画面にこれら（イ～二）の入力項目をすべて用意しています。



正確な消費税の処理を支援します

同じ勘定科目を使う仕訳でも取引の内容によっては、消費税が課税される取引と課税されない取引があります。
そのため、取引ごとに「課税」「非課税」「不課税」のどれに該当するか判断する必要があります。

FX2は「取引内容の一覧」から「取引内容」を選択するだけで、消費税の入力が完了します。



経理業務の合理化

PX2・SX2との仕訳連携

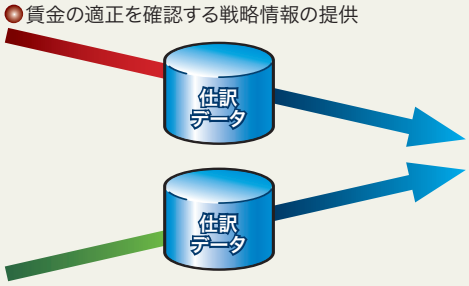
戦略給与情報システム　PX2

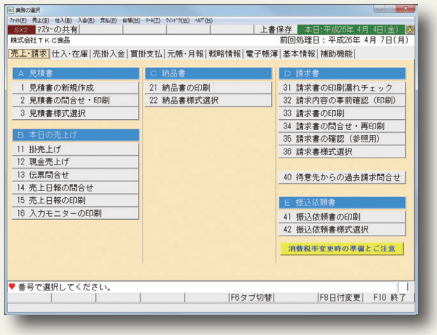
賃金の適正配分の決定と給与事務の合理化を支援

PX2で計算した毎月の給与・賞与の結果を、FX2に仕訳として読み込むことができます。

特　長

- 給与計算関連法規の改正に迅速・正確に対応
- 適正な給与計算と事務の合理化に貢献
- 賃金の適正を確認する戦略情報の提供





戦略販売・購買情報システム　SX2

商品戦略・市場戦略の策定と販売・購買業務の合理化を支援

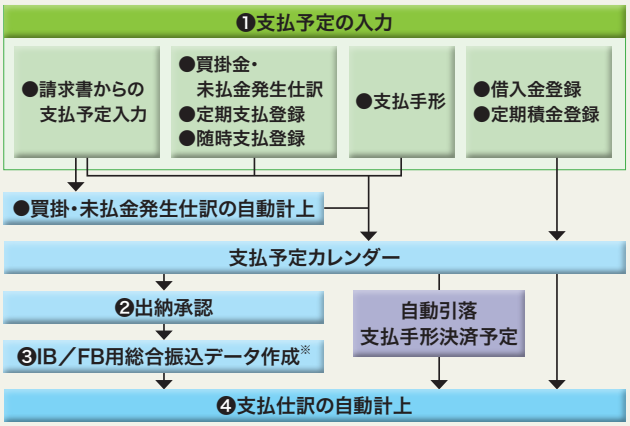
SX2で入力した売上、仕入、入金、支払等のデータを、FX2に仕訳として読み込むことができます。

特　長

- 販売・購買業務の合理化を支援
- 帳簿の電子保存によりペーパレス化に貢献
- 商品／市場戦略のための情報提供

支払管理体制の強化

“支払事務の合理化”と“内部管理体制の強化”を支援します



※別途「インターネットバンキング連動システム（オプション）」が必要です。

❶支払予定の入力

伝票入力時の支払予定の入力のほか、定期的な支払や随時の支払、借入金等を登録することで、支払予定カレンダーが自動的に作成されます。

❷出納承認

支払予定データについて、管理者（支払の承認者）が出納承認処理を行います。

❸IB／FB用総合振込データ作成※

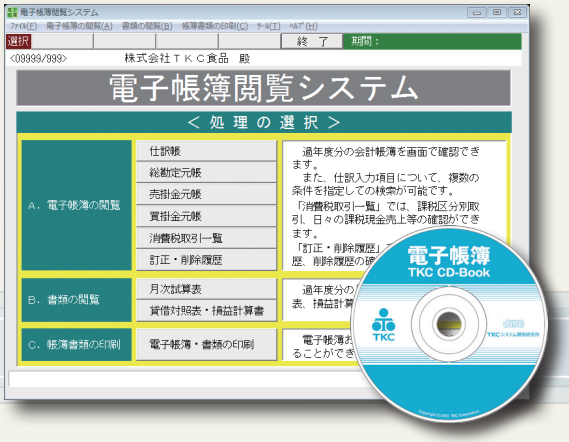
出納承認されたデータについて、インターネットバンキングやファームバンキング用の総合振込データ（全銀協制定レコード・フォーマット）を作成できます。

❹支払仕訳の自動計上

支払先ごとの約定（支払日）に基づき、支払仕訳を自動計上します。

電子帳簿保存法に完全対応

帳簿の電子化によりペーパレス化を支援します



FX2の電子帳簿保存法（帳簿の保存要件）への対応

「電子帳簿保存法」では、電子計算機を使用して作成する国税関係書類の全部又は一部について、所定の要件を満たすことを条件として、電磁的記録による備付け及び保存ができることとなっています。FX2は、この「電子帳簿保存法」に完全対応しています。

FX2では、「仕訳帳」と「総勘定元帳」について当期分の備付けが可能です。過去の「仕訳帳」と「総勘定元帳」は事業年度ごとに「電子帳簿（TKC CD-Book）」としてCD-Rに格納して提供します。提供された「電子帳簿（TKC CD-Book）」は、電子帳簿閲覧システムでいつでも閲覧できます。

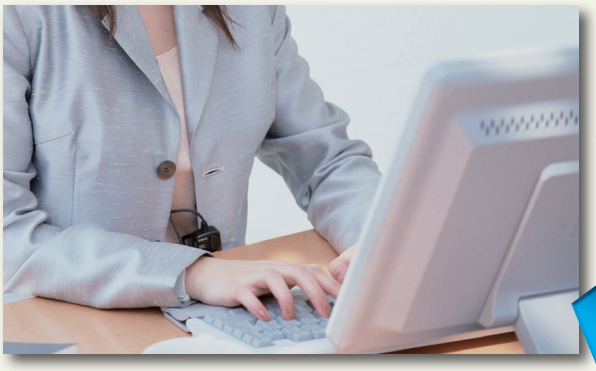
「業績管理の強化」と「経理業務の合理化」を強力に支援します

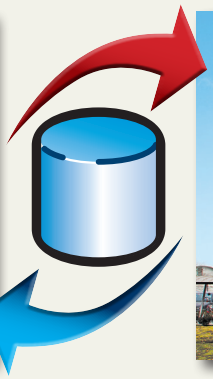
TISCバックアップサービス（FX2用）

データ消失への万全な備えを提供します

FX2のデータをTKCデータセンター（TISC）へバックアップし、データの記録媒体の紛失・盗難、ハードディスクの故障、天災等によるデータ消失への備えを提供します。

万が一の備えとしてデータを保存できます。





FX2起動時に、前日処置分までのデータを自動でTKCデータセンター（TISC）にバックアップします。バックアップしたデータは、会計事務所による操作でかんたんにFX2に復元できます。

※TKCデータセンター（TISC）では、バックアップされたデータを最新の1回分だけ保管します。バックアップの都度、前回分のデータは上書きされます。

TKCデータセンター（TISC）は、天災（地震、風水害、雷等）や人災（火事、侵入者等）に対する厳重な備えをした堅牢な建物です。
また、最高度のデータセキュリティ体制を備えております。
このTISCを拠点として、各種クラウドサービス（アプリケーション提供サービスやデータバックアップ）などを提供し、お客様の事業活動を24時間365日体制で支援しています。
TISCに関する詳細はホームページをご覧ください。
（http://www.tkc.jp/company/tisc）

社長メニュー（ASP版）

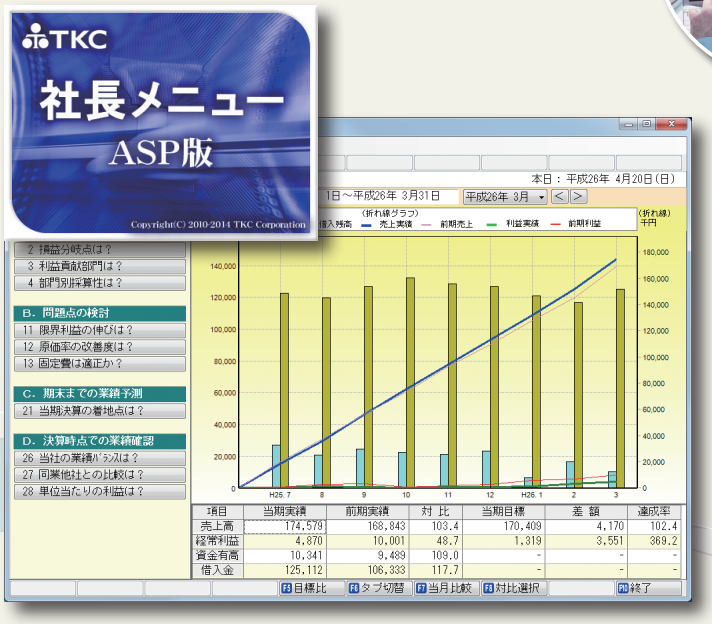
いつでもどこでも最新業績を確認できます

社長メニューにはASP版もあります。インターネットに接続できる環境さえあれば、最新業績データを経営者が「いつでも」「どこでも」確認できます。

外出先から

社長のデスクから

自宅から



経営者は、自分のデスクや自宅、出張先のホテル等“いつでも”“どこでも”最新業績を確認できます！

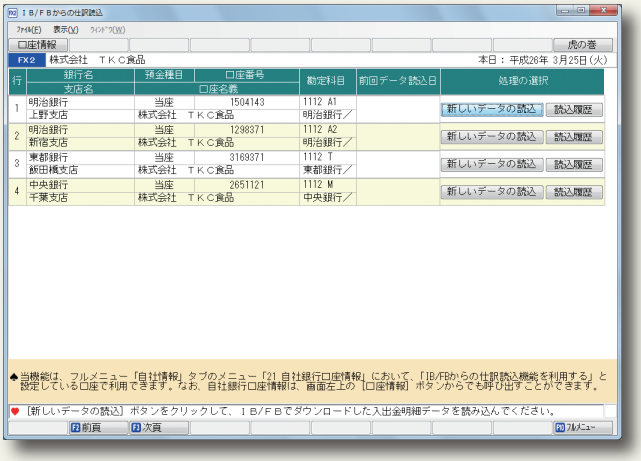
日々の経営に役立つ情報を即座に確認できます。また、ドリルダウンによる原因究明も可能です。

※TKC会員事務所のホームページまたはTKCグループホームページから起動します。
※確認できるデータは、前日処理分までのデータです。

インターネットバンキング等からの仕訳読込機能
仕訳入力業務を大幅に合理化できます

インターネットバンキング(IB)等からダウンロードした入出金明細データについて、内容を補正して仕訳として読み込めます。取引日付や金額等からFX2に入力済みの可能性がある取引を選別する機能や、補正内容の学習機能により、大幅に合理化できます。

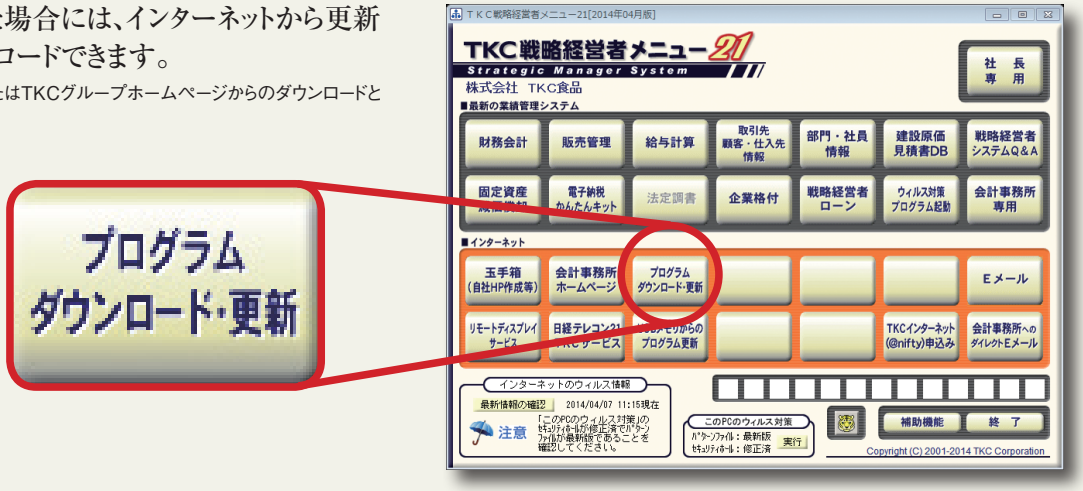
※全銀協制定レコード・フォーマットに限ります。



最新版プログラムのダウンロード
最短時間で最新のプログラムをお届けします

プログラムの改訂があった場合には、インターネットから更新プログラムを即座にダウンロードできます。

※TKC会員事務所のホームページまたはTKCグループホームページからのダウンロードとなります。



ONE POINT 玉手箱

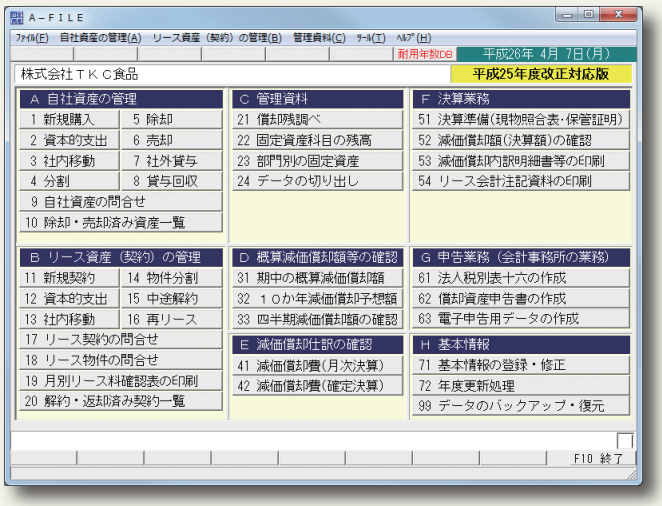
インターネットを活用し、ホームページ作成やはがき作成などの便利なサービスをすぐに利用できます。今後も新機能を順次追加していきます。

順次サービスを追加します!

会社の業務をトータルにサポートするオプションシステムを用意しています

固定資産管理システム　A-FILE

固定資産の適正管理と正確な減価償却計算を支援します



自社資産の適正な管理

固定資産の新規購入から除却･売却･社外貸与までを一元的に管理できます。

リース資産（契約）の管理

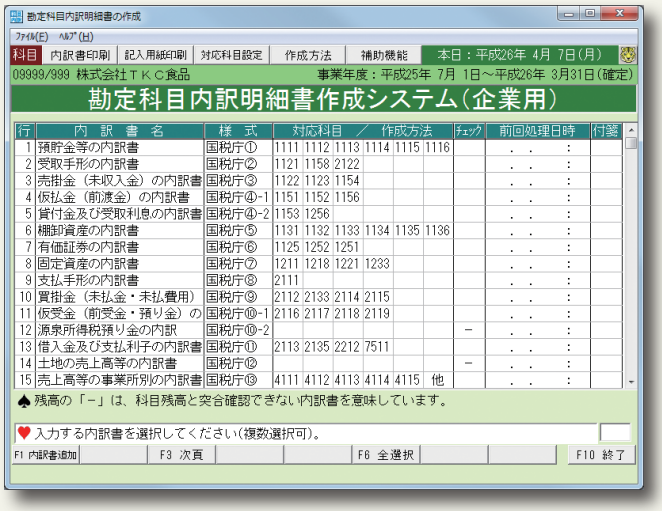
リース契約の締結から契約満了までを管理できます。また、中途解約や再リースにも対応しています。

概算減価償却額の計算とFX2への仕訳連動

期中において概算減価償却額を自動計算し、FX2に仕訳連動できます。また、「10か年の償却予想額」及び「四半期の概算減価償却額」を確認できます。

勘定科目内訳明細書作成システム

FX2の勘定科目残高等と連動して科目内訳書を作成できます



国税庁標準様式とTKC独自様式の科目内訳書の作成

法人税の電子申告対象帳票である国税庁標準様式の科目内訳書（22種類）に加え、TKC独自様式の科目内訳書（12種類）の合計34種類の科目内訳書を作成できます。

FX2の残高との連動

①科目内訳書の入力金額とFX2の勘定科目残高との整合性を自動的にチェックします。

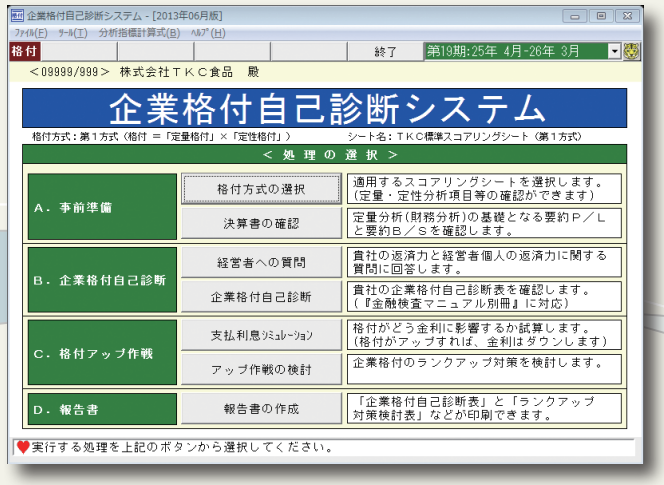
②口座別･取引先別に管理している科目については、FX2の口座別･取引先別残高を科目内訳書に自動複写します。

会計事務所との連携による科目内訳書の作成

貴社で入力した科目内訳書データは、TKC会員事務所の協力により完成させます。完成した科目内訳書は、TKC会員事務所で他の申告データとあわせて電子申告できます。

企業格付自己診断システム

自社の「格付」（債務者区分を含む）を試算（自己診断）できます



『金融検査マニュアル』の考え方に基づく「格付」を試算

金融庁の『金融検査マニュアル』及び『金融検査マニュアル別冊〔中小企業融資編〕』の考え方に基づいて、自社の「格付」を試算できます。

FX2と連動した「定量分析」

FX2の実績データを利用して、定量分析が行えます。

経営者への質問による「定性分析」

経営者への質問形式で「定性分析」を行います。また、その回答から、自社の定性分析から見た「強み」をリストアップします。リストアップされなかった項目（質問）は、格付から見た「改善課題」となるため、これを改善するための「行動計画」を立案できます。

TKC会員事務所の専門スタッフが支援します

システム立ち上げ・運用支援

FX2の導入・運用はTKC会員事務所の専門スタッフが支援します

❶貴社に合わせてシステムをセットアップします。

FX2の導入・設定（マスターセットアップ等）を、TKC会員事務所の専門スタッフが貴社の処理方法や管理目的に合わせてきめ細かく実施します。

❷導入したその日から稼働します。

システム導入から運用開始までに必要なセットアップはTKC会員事務所が実施します。貴社への納品と同時に、システムを利用開始できます。

❸レンタル制が最新のシステムを保証します。

FX2はレンタル制を採用しています。ソフトウェアのレベルアップに伴う追加費用は一切発生しません。また、法令改正等にも迅速に対応します。

❹継続したサービスが受けられます。

FX2はシステムの利用範囲の拡張を段階的に進められます。このため、システムの運用に関するコンサルティングを継続的に実施し、システムの活用を支援します。

電子申告まで一気通貫

月次巡回監査を行い、会社法や税法が求める帳簿や決算書の作成、税務申告まで、TKC会員事務所が担当します

会社法・税法に基づく正規の会計帳簿（仕訳帳、総勘定元帳）及び決算書の作成は、毎月の巡回監査を通してTKC会員事務所が一気通貫で支援します。

関与先企業

経営者は、いつでもどこでも最新の業績を確認し、意思決定のための情報を入手できるため、経営に専念できます。また、TKCシステムの場合、決算を迎えても日々の会計業務を止めることはありません。

TKC会員事務所

TKC会員事務所は、毎月関与先企業を訪問し、会計資料並びに会計記録の適法性、正確性及び適時性を検証し、さらに黒字決算のための経営助言に努めています。

TKCシステムは「一気通貫」です。

記帳指導 → 年12回の巡回監査と月次決算（TKCでは過去データの遡及的な追加・修正・削除の処理を禁止しています。） → 決算書作成 → 法人税・消費税申告書の作成 → 国税・地方税の電子申告 → 記帳適時性証明書の取得

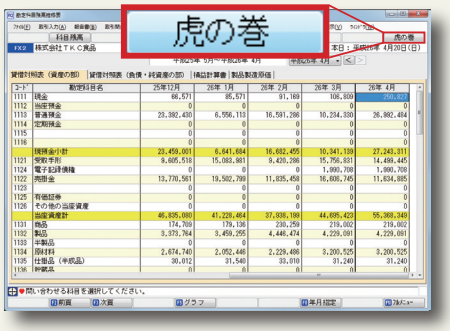
記帳適時性証明書「会計帳簿作成の適時性（会社法第432条）と電子申告に関する証明書」

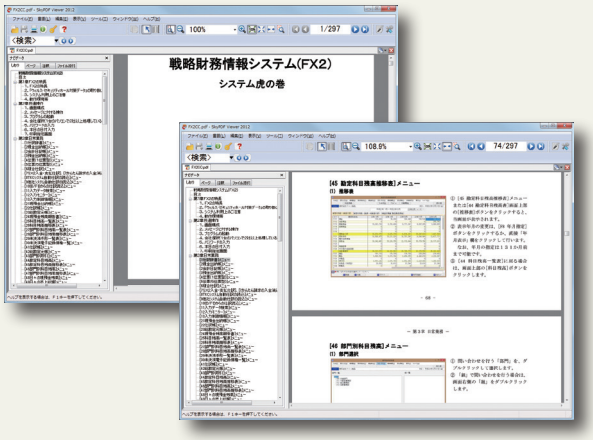
記帳適時性証明書は、会計帳簿及び決算書並びに法人税申告書の作成に関して次の事実を証明しています。

1. 貴社の会計帳簿が、会社法第432条に基づいて、「適時に」作成されていること
2. TKC会計人が、貴社を毎月訪問して巡回監査を実施し、月次決算を完了していること
3. 決算書は法人税申告のため税務署に提出したものと同一であり、別途に作成したものではないこと
4. 法人税申告書は、当該決算書に基づいて作成され、申告期限までに電子申告されていること

システム虎の巻
困った時に即座に確認できます

FX2は、オンラインマニュアルとして「システム虎の巻」を搭載しています。操作に困った時は、いつでも操作方法を確認できます。

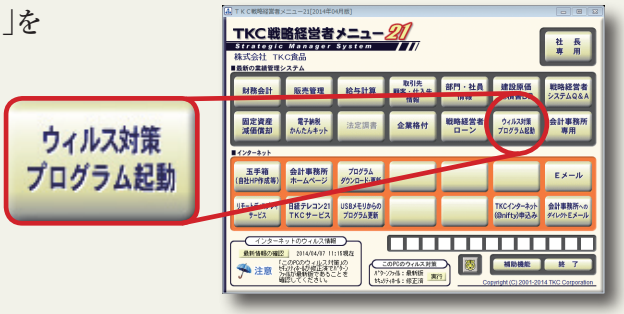




ウィルス対策
ウィルス対策プログラムを無償で提供しています

FX2をご利用いただくパソコンには、「TKCウィルス対策プログラム」を無償で提供しています。

安心・快適にパソコンをご利用いただけます！



システムの利用環境

主な仕様

■登録可能件数

月間取引伝票		15,000枚
取引先		999,999件
部門		999件
仕訳辞書		無制限(内訳は26)
元帳摘要	自動摘要	登録済
	標準摘要	登録済
	専用摘要	無制限(内訳は15)

■桁数・文字数

勘定科目コード	数字4桁(登録済)
勘定科目名	全角12文字(全角のみ)
口座(補助科目) コード	英数字2桁
口座(補助科目)名	全角16文字(全・半角混在可)
取引先コード	数字6桁
取引先名	全角16文字(全・半角混在可)
部門コード	数字3桁
部門名	全角12文字(全角のみ)
元帳摘要	全角20文字(全・半角混在可)
金額　入力時	整数11桁
集計時	整数13桁

推奨動作環境

■パソコン

OS(注1)	Windows 8.1	Windows 8	Windows 7	Windows Vista
エディション	Windows 8.1Pro / Windows 8.1	Windows 8 Pro / Windows 8	Ultimate／Professional／Home Premium	Ultimate／Business／Home Premium
サービスパック	–	–	SP1	SP2
CPU	2GHz以上			
メモリ	4GB以上			
フォントサイズ	96DPI			
ディスプレイ	1024×768以上			
ハードディスク	1GB以上(データ領域は別途必要)			

(注1)64ビット版については、Windows 8.1、Windows 8 及び Windows 7に対応しています。64ビット版のWindows Vistaには対応していません。
　また、日本語版 Windowsのみ対応しています。
(注2)「マネジメントレポート設計ツール」をご利用いただく場合は、Microsoft Office Excel2013,Excel2010,Excel2007が必要です。

記載事項は、予告無く変更することがありますのであらかじめご了承下さい。
記載の社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

株式会社TKC
〒162 - 8585 東京都新宿区揚場町2 - 1 軽子坂MNビル5F
TEL：03-3235-5511
URL：http://www.tkc.jp/

FX2の製品情報については
TKCグループHPをご覧ください。

FX2　検索

2014.05